

東京都 省エネ・再エネ住宅 推進プラットフォーム  
分科会 資料

## ツープайフォー建築における 国産材活用協議会

設立・活動

令和5年12月1日



特定非営利活動法人 建築技術支援協会

## 事業の背景と目的

- 我が国は、脱炭素社会を目指し、2050年にカーボンニュートラルの実現を目指している。
- 木材は、鉄等の資材に比べて、製造や加工に要するエネルギーが少なく二酸化炭素の排出量が抑制されることから、国産木材の利用促進は地球温暖化対策に資する。  
輸入材中心のツーバイフォー工法においても、色々な活動を推進し、国産木材の利用促進に努めなければならない。

資材生産過程の温室効果ガス発生（工法比較） 日本ツーバイフォー建築協会提供

R C 造	93673
S 造	76453
木 造	62715

- 森林資源の適正な活用と、健全な森林の維持。

## 事業の背景と目的

伐る ⇒ 使う ⇒ 植える！



## ツーバイフォー工法における木材利用の状況

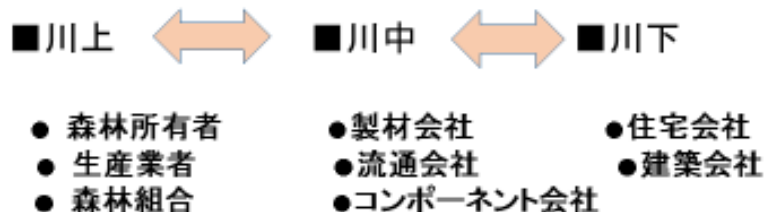
- 国産材・・・低い立木価格  
    ➔ 森林所有者の経営意欲、低いまま
- 不安定な輸入木材価格の影響
  - ・ 以前は安価な外材の大量輸入
  - ・ ウッドショックによる木材価格の高騰
  - ・ ウクライナ情勢等による国際的なサプライチェーンの不透明さ

—2—

## 協議会が目指すもの

### 国内における最適な ＜木材サプライチェーン＞の構築

川上から川下までの異業種メンバーの連携による  
持続可能なサプライチェーンを構築し、  
林業の成長産業化及び地方創生への貢献をする



—3—

## 設立・体制(2023年10月31日現在)

- 設立:2022年11月8日
- 会員:正会員 …… 58 社・団体  
:賛助会員 …… 6 社・団体
- 会員の構成
  - 製材会社 …… 17 社
  - コンポーネント会社 …… 17 社
  - 住宅・建設会社 …… 21 社
  - その他 …… 10 社

## 活動内容 -1

以下の<テーマ>につき事業部を構成し推進中

- (1) ツーバイフォー工法建築物に活用する国産木材に関する需給動向調査及び調査結果の公表・提言
  - 例:生産量調査では、2022年度は前年比9.2%増、2023年度は20%増加見込み
- (2) 国産木材活用推進のための情報収集、普及啓発活動
- (3) 国産木材供給の持続可能なサプライチェーンの整備、支援及び提言
  - 川中側(生産者)と川下側(需要者)が年間予約共有が出来る仕組みを定着させる。
  - 川上(山元)との情報交流に努め、双方に利益をもたらす仕組みを検討する。

—5—

## 活動内容 -2

以下の<テーマ>につき事業部を構成し推進中

- (4) 国産木材の製品規格の標準化
  - 現場に即した製品規格の見直し
    - ・長さ:フィート単位ではなく、メートル単位
    - ・面取り加工の要・不要の検討
- (5) 国産木材に関する法令・規格の調査、研究及び提言
  - 「MSRたて継ぎ材」の開発、ならびに需要促進(林野庁、補助事業による支援を受け実施中)
- (6) 国産木材を利用した建築物における炭素貯蔵量・炭素排出量・炭素吸収量等の算定結果の公表
  - 各項目の算定基準につき、「林野庁ガイドライン」に加え研究団体・大学の研究者の解説を受け検討中

—6—